



始まりの時



4月5日、44期生の入学式を挙行しました。真新しい標準服を身にまとい

新たな希望に胸を膨らませて入学してきた新入生のみなさん、改めて本当におめでとうございます。以下に入学式で校長先生が皆さんに贈った式辞を紹介します。2、3年生の皆さんもぜひ、読んでください。

式辞

横堤中学校第44期生、84名の新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

また保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は、お子様のご入学、本当におめでとうございます。

さて、皆さんは小学校の六年間を立派に修了し、希望を胸に横堤中学校の門をくぐりました。今、どんな気持ちでこの場所にいますか。やる気に満ちていますか。それとも少し不安があるでしょうか。でも、どうか安心してください。横堤中学校の教職員はどんな時も皆さんを温かく包み、支えてくれます。一緒に頑張っていきましょう。

本校の校訓は「自主・協同・忍耐」の3つです。この校訓をもとに、新入生の皆さんに心がけてほしいことを三つお話しします。

最初の「**自主**」とは「自ら考えて行動すること」です。自ら考えるためには、しっかりと学ばなければなりません。学校での学びの中心は授業です。毎日の授業を通して、多くのことを吸収し、自ら学ぶ力や考える力を養っていってほしいと思います。

二つ目の「**協同**」は、「心と力を合わせて助け合うこと」です。学校は集団生活の場です。相手の立場に立ち、仲間とともに「認め合い、高めあう集団」をつくっていってください。そして、仲間とともに助け合いながら、喜びや感動を分かち合ってほしいと願っています。

最後の「**忍耐**」とは、「決してあきらめず、最後までやりぬく」ことです。何事も辛抱強く、一生懸命に取り組む習慣を養っていってください。

では、こんな風にしていけばどうなるのか。みなさんは青竹を知っていますよね。まだ若く、しなやかで強い竹のことです。この青竹は4年間は全然伸びていないのに、5年後に一気に伸びるのです。最初の4年間は何も変わっていないのでしょうか。そんなことはないのです。実は4年間は「根」が成長しているのです。また、しっかりと根を張ることで、太く長い幹を支える基盤をつくっています。そして、しっかりとした基盤が出来たとたん、一気に伸びていくそうです。人はともすると目に見える部分で判断してしまいがちです。見える部分がなかなか成長しないから、諦める。見える部分だけを気にするあまり、見えない部分をおろそかにする。まさに小学校、中学校の期間は「根」が成長している時だと思います。

見えない部分の成長が、見える部分を変えていくのです。だから、**努力を続けていれば、今は見えなくてもいつかきっと皆さんの夢が叶う**という形で見えてくると思います。

みんなの前に、「叶」の花文字が掲げられています。これは新2年生が、みんなのご入学のお祝いに、制作したものです。これから始まる中学校生活で、しっかりと根を張り、みんな自身の夢を育て、その夢が叶うことを祈っています。

最後になりますが、校長先生にも1つの夢があります。それは「**止まり木のような学校を創る**」という夢です。止まり木とは飛ぶことに疲れた鳥たちが木に止り、羽を休め、また元気に飛び立っていく。そんな木のことです。苦しいことや悩み事があっても横堤中学校に行けば元気になる。教職員の顔を見たら安心できる。だからまた明日から頑張ろうという気持ちになれる、そんなあったかな学校を創りたいと思います。どうか皆さん之力も貸してください。

一緒に毎日、楽しく過ごせる学校を創っていきましょう。

では新入生のみなさん、『これから歩く道を見つけるのに必要なのは、心配ではなく勇気である。』という言葉を贈り、私の歓迎の言葉とします。